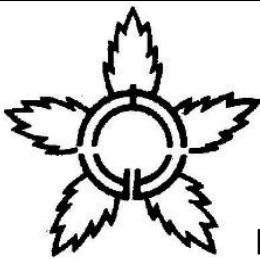


元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小



大北

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-kyo.ed.jp>

学校評価年次報告書

令和8年 1月 8日

練馬区立大泉北小学校
校長 松井 貴子

令和7年12月に保護者の皆様に学校評価アンケート20項目について回答していただき、425家庭中291家庭、回答率約68.4%でした。ご多用の中、ご協力ありがとうございました。

皆様からの貴重な評価、児童のアンケート結果と学校評議員の皆様からのご意見も参考にしながら、今後の教育活動の改善に努めてまいります。

◎保護者 学校評価アンケート（令和6年度との比較 青：上昇 / 緑：ほぼ同じ / 赤：下降

肯定的な回答が85%以上

2 お子様は、友達と仲良く生活している。	97.9%
1 お子様は、楽しく学校に通っている。	96.6%
10 お子様は、集団生活のきまりを理解し、責任をもった行動ができる。	94.5%
20 学校は、学校施設の整備や校内環境美化に努めている。	93.5%
17 学校は、教育目標及び方針、教育活動を分かりやすく伝えている。 (学校だより・HP・メール配信、保護者会等)	93.5%
15 学校は、体力向上や健康・安全に関する取組みをしている。	93.4%
16 学校は、いじめを許さず、一人ひとりに居場所のある温かい人間関係を築く教育を 保護者や関係機関とすすめている。	90.1%
7 学校は、ICT等を活用し、分かりやすい授業や楽しい授業に努めている。	90.0%
14 学校・家庭・地域が連携、協力し「自分の身は自分で守る」安全 教育を推進している。(PTA活動・保護者・ボランティア・応援団活動・地域行事等)	89.4%
9 お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身に付いている。	87.6%
11 学校は、心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・あおぞらルーム・ 養護教諭等、さまざまな相談できるところがあり、連絡や相談をしやすい。	86.6%
4 お子様は、場に応じた返事や挨拶が身に付いている。	85.6%
8 お子様は、SNSルール等を守り、タブレットパソコンを使って楽しく学習している。	85.2%

肯定的な回答が80%以上85%未満

19 お子さんに、仕事についての話や役割の大切さについて話している。(R7新設項目)	84.9%
6 学校は学校図書館の活用や読書活動を推進し「言葉の力」を身に付け、 自ら考え判断し行動する子供を育てている。	83.5%
13 お子様は、学校での出来事や様子をよく話している。	83.5%
5 お子様は、傾聴の姿勢が身に付いている。	80.1%

肯定的な回答が80%未満

3 お子様は、目標や夢をもって生活している。	78.4%
18 学校・家庭・地域が連携・協力し「目指す15歳の姿」を意識した多様な 教育活動をしている。	76.0%
12 お子様は、家庭学習において計画を立てて取り組み、家庭学習の習慣 が身に付いている。	70.1%

アンケートの肯定的な回答が80%以上となった項目が、20項目中17項目であり、これまでの成果が着実に上がってきています。これも保護者のみなさまが本校の教育活動にご理解ご協力いただいているおかげです。

また、80%未満の項目でも、昨年度より上昇している項目が2項目あり、少しずつですが向上しております。

今後もよりよい教育活動をおこなっていくために、改善を図ってまいります。

保護者の皆様、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

夢や目標をもつ 項目3

昨年度に比べ3. 2pt評価が下がりました。日々の学習活動や学校生活の中で、児童が活躍し自信をもてる活動や機会をもち、また、ゲストティーチャーや地域の方々等多くの人と関わりながら、将来の夢や目標をもてるよう自己理解を深め、なりたい自分になれるよう、今後もキャリア教育の充実を図っていきます。保護者のみなさんも引き続き、ご家庭で仕事についての話や役割の大切さについて話していただきたいと存じます。

また、友達や教師からの価値付けや保護者・地域関係者からの賞賛などにより児童が自分のよさを見付けられるように意識させていきたいと思います。認められると嬉しいのは誰もがもつ欲求だと思います。はじめは他者からの賞賛が外発的動機づけとなって、次もやってみようという意欲につながります。成功体験が積み重なると、自信がつき夢や目標に向かっていく意欲が高まります。

家庭学習の取組 項目12

昨年度より3. 7pt増えており、毎年少しずつですが定着してきています。本年度も実施いたしました。「算数得点アップウィーク」「家庭学習促進旬間」を今後も実施していきます。

低学年においては、保護者の方と一緒に学習をすすめていくことが必要です。学校と家庭ごとの連携を大切にしながら、家庭学習習慣の定着を図るようにしていきましょう。

また、高学年でも、宿題や家庭学習等、ご家庭で様子を見ていいただき、児童の取組を支援していただけたらと思います。

学校・家庭・地域連携 項目18

昨年度より4. 8pt増えており、こちらも毎年少しずつ定着してきています。

今年度発足した「大北サポートーズ」の皆様の多大なるご協力により、運動会や音楽会の学校行事や避難拠点訓練等の地域の行事を無事に実施することができました。生活科・社会科の町探検等では、多くの保護者の方の協力をいただきながら安全に実施することができました。今後も学校行事や学習等で、保護者のみなさまのご協力を頂けたら幸いです。

毎年の読書旬間には、大泉図書館との連携、お話の会、校長先生方による読み聞かせなど多くの取組をしています。今年度は低中学年の保護者の方に読み聞かせボランティアをお願いし楽しい時間を持ちました。次年度も読書旬間に保護者・地域の方による読書ボランティアをつのり、子供たちの豊かな感性や非認知能力を育んでいきたいと存じます。

また、毎年実施している農業体験や白子川体験活動など多様な教育活動も引き続きすすめています。

今後は、これまでの地域との連携を活かしながら練馬区の方針である学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）導入へ向けて取り組み、学校・家庭・地域の更なる連携の強化を目指します。

活動の様子は、学校だよりやHP等で発信し、今度も保護者の方や地域の方の理解と協力を図っていきます。